

岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 水野 泰孝

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第1回)

2 開催日時 令和5年7月3日(月)

3 開催場所 岐阜県立恵那農業高等学校

4 委員 大宮 康一 岐阜大学地域協学センター准教授
臼田 浩通 岐阜県立国際園芸アカデミー教授
岡庭 隆 保護司
小椋日南恵 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー
楯 博子 恵那市立恵那西中学校長
伊藤 政之 恵那市立大井大二小学校長
森本 富江 卒業生保護者
田中 沙織 在校生保護者
水野 泰孝 校長 丹羽 建一 教頭
矢島 博光 事務長 水野 歩 教務主任
野々目佳世 進路指導部長 河島 隆浩 生徒指導部長
波多野祥子 特別活動部長 野村 祐作 農場長

5 会議の概要(協議事項)

学校運営の方針について

- ・教育指導の重点及び学校経営計画に関する事項およびスクールポリシーについて
- ・学習活動に関する事項
- ・進路指導に関する事項
- ・生徒指導に関する事項
- ・農場部に関する事項

学校運営の方針について

①令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画について

- ・群募集や新学科に学習の体制が変わっても、農業高校の特色を活かして、社会に向かって行く生徒たちを育ててほしい。
- ・今年度の計画も生徒らの将来を考えた時に、とても丁寧なものである。

②学習活動に関する取組について

- ・小中高を問わず多様な他者との協働の中で学ぶことが大切で、職業的・社会的に自立した人間を育てることが公教育の大切な目的と考える。そのために受け身では無く、生徒が主体になる指導・授業が必要である。今後も連携を密にして地域の人材を育ててほしい。

③進路指導に関する取組について

- ・キャリア教育の視点で、進路ガイダンスの折に生徒らをじっくり見たが、高校生らしい会話が出来ていた。コロナ禍に負けずしっかり話す力が付いており安心した。授業もコミュニケーション能力を高めるグループワークや発表の機会を設定されていて良い。
- ・昨年度の卒業式に壇上の大アレンジメントを依頼したところ、本校の卒業生が来てくれた。専門的な技術を発揮してアレンジメント作る姿を見て、本当に立派になったなあと感じた。
- ・中学校では教員生徒が高校のことをもっと知り、高校で何を学ぶかを考えさせて進路選択を行いたい。高校での具体的な学びがしっかりイメージが出来ないまま進路決定してしまう中学生が多くなっている現在、入学後の体験をともなう学びを通じて学科を選べる群募集は、良い方法だと考える。

④生徒指導に関する取組について

- ・社会に出るためには、専門的な技術の勉強も大切だが、生活力がやはり大切である。ソーシャルスキルトレーニングでコミュニケーション力を身に付けたり、教員のカウンセリング力で生徒の内面にある強みを引き出すなど、社会で生活できる力をさらに高めてほしい。

⑤農場部に関する取組について

- ・実体験はとても大切である。本校の花が恵那市中に植えられていることのすばらしさを感じている。小中学校も地域なので、どんどん活動の場として活用してほしい。
- ・生徒が地域で共働する場面で、質問が出ることがあるが、臆すること無く自信を持って答えてほしい。市民は若い皆さんと接することをとても楽しみにしている。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の学校運営方針について承認を得られた。特に、群募集、新学科への移行が始まった今年は、各委員より群募集への評価や期待の意見をいただいた。

今後の教育指導と学校経営に反映させたい。